

昭和二十五年十一月二十八日提出
質問 第七四号

困窮地域の学童に対する保護政策に関する質問主意書

右の質問主意書を提出する。

昭和二十五年十一月二十八日

提出者 風早八十二

衆議院議長 幣原喜重郎 殿

困窮地域の学童に対する保護政策に関する質問主意書

東京都中野区多田小学校では、全生徒九五〇名のうち、雨降りの日にはその二〇％が学校を休んでいく。これははきものとかさがないためである。更に天気の良い日にも休む者が多数いるが、これは洗たくをする時の着替えがないためである。

このような状態にあるとき、当該学校の近くである中野区八島町では、生活保護者が去年の四月の九十名から四十名に削減されている。この主な理由は戸籍謄本が不備であるというためである。

以上の点から、政府の次の点に対する明確なる答弁を求める。

- 一 政府は、困窮地域の学童に対する特別の保護対策を講ずる意思があるか。
- 二 若しありとすれば、いかなる方針をとるか、具体的に明示されたい。

右質問する。